

令和6年度「首都高速道路横浜北線・横浜北西線に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

2024年度首都高速道路事業評価監視委員会における委員会資料に、アンケートで回答いただいた皆さまの声の一部を引用させていただきました。

2 アンケートを実施した感想

Q2、Q8 および Q11 で「横浜北線・横浜北西線を利用することで、どのような効果を実感しましたか」の質問に対して、横浜北線・横浜北西線をよくご利用されている方の9割以上が効果を実感していると回答をいただきました。

沿線区の市民の方からは、「周辺の道路の交通渋滞が緩和された」や「アクアライン、千葉へのアクセスが良くなった」などのご意見をいただき、沿線地域の交通環境の改善だけでなく広域的な利用による観光地等へのアクセス性向上といった効果を実感いただいていることが分かりました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびはアンケートにご協力いただきありがとうございました。自由記入欄含めて貴重なご意見を多数いただき、大変参考になりました。

自由意見として、「保土ヶ谷バイパスでの事故などの予備手段として必要な道路だと思う」や「災害時のネットワークの信頼性向上は、住民としてはありがたいです」といったご回答をいただいておりますが、まさに横浜北線・横浜北西線は保土ヶ谷バイパスの並行路線として道路ネットワークの信頼性を向上する路線です。

一方で、Q1、Q7 および Q10 で「横浜北線・横浜北西線を利用する頻度を教えてください」の質問に対して、6割ほどの方から「一度も利用したことがない」との回答をいただいています。今後、内陸部～臨海部を自動車で移動される際などには、横浜北線・横浜北西線を交通状況に応じてご利用いただくと幸いです。

担当：道路局横浜環状道路調整課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。